

千葉中央バスの新型コロナウイルス感染予防対策

弊社では、お客様並びに社員の新型コロナウイルス感染予防でさらなる安全・安心を実現するため、以下のような様々な対策に取り組んでおります。

バスについて 積極的な換気の実施

(イメージ)



車内の空調を「外気導入モード」に設定し、新鮮な空気を取り入れることで、常に清潔な車内環境を保ちます。

観光地での待機中・休憩中も窓を開け、積極的に車内の空気を換気しております。

なお、貸切バスは約5分で車内換気が可能です。詳細は公益社団法人日本バス協会HPをご覧ください。

公益社団法人日本バス協会HP

「バスにおける新型コロナウイルス感染予防への取り組み」www.bus.or.jp/covid-19/index.html

バスについて 車内除菌の実施



全車両に低濃度オゾン除菌・消臭機を設置しています。また、抗菌、抗ウイルス加工を施した車両で常に安全かつ衛生的な空間除菌を行っております。

○低濃度オゾンガス除菌・消臭機：「バクテクター03（オースリー）」は、全国500台以上の救急車に搭載されている製品と同タイプ（※消防用）のもので、人体に安全なレベルの低濃度オゾンガスにおいても、同ウイルスを不活性化する事実が証明されております。〔出典元：藤田医科大学 プレスリリース2020年8月26日

<https://www.fujita-hu.ac.jp/news/j93sdv0000007394.html> 〕

○抗菌、抗ウイルス加工：無光触媒「SKYBE スカイビー - 783」は、ISO18184及びISO21702に準拠した第三者機関の試験結果によって新型コロナウイルスの99.9%以上の減少効果が確認されました。

バスについて 仕切り板の設置

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づき、飛沫防止対策の一環として、運転席と客席の間に仕切り板を設置しております。



バスについて お客さま用 アルコール消毒液の設置

お客さまに安心してご利用いただけるよう、バス車内にアルコール消毒液を完備し、手や指の消毒にご協力をお願いしております。



バスについて 消毒液による除菌

バスは抗菌、抗ウイルス加工を行っておりますが、座席・ひじ掛け・手すりなど、手の触れる頻度の多い箇所に、徹底した除菌作業を適宜実施しております。



乗務員の取り組み フェイスシールドの着用

お客さまに安心してご利用いただくため、乗務員は必要に応じてフェイスシールドを着用します。接客時など飛沫感染を防止し、衛生面向上に努めております。



衛生面の取り組み 検温・健康状態の確認

出庫・入庫点呼の際、非接触体温計による検温と健康状態の確認を行い、異常が認められた場合は乗務を見合わせます。また、すべての乗務員にマスクの着用を義務づけております。

